

周年事業 安藤忠雄講演会 アンケート検証所見

《有効回答数一覧》	岸和田市内	泉州地域	その他府内	府外	計
～20 歳	13	23	10	回答無し	46
～40 歳	122	49	24	12	207
～60 歳	109	79	18	13	219
60 歳～	60	31	4	8	103
計	304	182	56	33	575

総入場者数 965（メンバー除く） 有効回答数 575

【動員と広報について】

今回はSNS広告を軸に広報を策定した。岸和田市より半径30キロ圏内に範囲を指定した結果広い範囲からの参加者を得ることが出来た。しかしながら泉州地域では口コミやチラシなどの効果も比較的多く散見され、本市においては口コミとチラシが最も多いという結果が出た。回覧板、駅立ちなどの地道な活動が効果を奏したと考えられる。費用対効果を勘案すると過度なSNS広告は再考の余地がある。今後、広く対象者を募る場合を除き、市内や近郊市民を対象とする場合は特に検討の余地がある。

今回のもう一つの新しい試みとして町会回覧板を使用したが一定の効果があつたとみられる。校区長会議で承認を得れるかで状況は変わるが、広報きしわだと共に全戸配布も可能とのことなので今後も活用の余地はある。

【来場の動機について】

やはり講師でという答えが全般的に多かった。テーマに関心も高かったようではあるが講師例会は講師のネームバリューが重要ということが改めて浮き彫りとなった。

【講演内容の理解度、その上での気付きについて】

ここでも全般的に前向きな答えが多かった。講演も時に安藤氏の歯に衣着せぬ言葉で笑いが多くおきるような内容だったので参加者にもわかりやすく、浸潤し易かったためこのような結果が出たと思われる。

【自らが街づくりの主角となれるかについて】

本事業の最大の目的である項目であるが、意外な結果となった。府内、府外からは「非常に高まった」という答えが多かった。しかしながら泉州地域においては各世代において「非常に高まった」と「高まった」が同数であり、市内においては「高まった」のほうが多かった。未だに街づくりは行政や企業が行うというのがメインではないかと考える市民が多いのかもしれない。

ただ、高まったとの声が多かったので、今回の講演での目的は達成したが、この講演がスタートラインとなって岸和田が一層発展してこそわれわれの目的の達成でもある。

よって今後も一層の機会の提供し、想いを市民一人ひとりに伝播していく必要があると強く感じた。